

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	科学英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		1		
教科書/教材	プリント類						
担当教員	青山 陽子						
到達目標							
以下の3つの項目について修得する。 (1) 数学、物理、化学、生物分野で用いる英語表現 (2) 科学英語の基本的な英文法。 (3) 科学分野の英語の文章を読み解く。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	□数学、化学、物理で用いる英語表現を使って簡単な英文を作成できる。		□数学、化学、物理で用いる英語表現を使って簡単な短い英文を作成できる。		□数学、化学、物理で用いる英語表現を使って簡単な英文を作成できない。		
評価項目2	□□科学英語の基本的な英文法が理解でき、自分で作文が出来る。		□科学英語の基本的な英文法が理解できる。		□科学英語の基本的な英文法が理解できない。		
評価項目3	□科学分野の短い英語の文章を読み、辞書を用いずに正確に内容を読み取れる。		□科学分野の短い英語の文章を読み、辞書を用いれば正確に内容を読み取れる。		□科学分野の短い英語の文章を読み、辞書を用いても正確に内容を読み取れない。		
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4							
教育方法等							
概要	英語は世界で最も多くの国で公用語として使用されている言語であり、グローバルコミュニケーションの手段として欠かせない。本授業は、昨年度の科学英語Ⅰに引き続き専門的な英字文献を読み書きする能力を養うことを目的とする。						
授業の進め方・方法	前半は各テーマに関連する語彙、語法、構文の基礎を英作文で演習し、機能表現が含まれた短い文章で読解力を養う。後半は、前半で修得した表現をベースに、論理的な文章を作成する演習を行う。また、それらの分析結果を含んだ英文を読み、内容理解の訓練を行う。						
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		プログラムの学習・教育目標、授業概要・スケジュール、評価方法と基準等の説明を行う。		
		2週	数と式		大きい数、少数、分数、指数、ベクトルとスカラーについての英語表現ができる。		
		3週	数と式		四則演算、平方根、方程式、三角関数、行列、数列、微分、積分についての英語表現ができる。		
		4週	線、図形、表、グラフ		線、図形、表、関数グラフについての英語表現ができる。		
		5週	単位、化学式、		単位、化学式を使った英語表現ができる。		
		6週	実験器具・装置		化学実験、生物実験、物理実験についての英語表現ができる。		
		7週	後期中間試験				
		8週	科学英語の英文法		冠詞と前置詞について正しく使うことができる。		
	4thQ	9週			動詞と比較の適切な使い方が分かる。		
		10週			関係詞と時制について、適切な使い方がわかる。		
		11週			適切な主語の選択ができる。		
		12週	実践的英語		科学論文の典型的な構成がわかる。		
		13週			最先端のトピックについての短い英文を読み正確に内容を読み取ることができる。		
		14週			最先端のトピックについての短い英文を読み正確に内容を読み取ることができる。		
		15週	学年末試験				
		16週	試験答案の返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0